

本市においても、本年2月21日に南国市新型コロナウイルスエンザ等対策本部を設置し、市民の皆様の安全を第一に感染拡大の防止に全力を挙げるとともに、特別定額給付金の円滑な給付や市独自の事業者支援を実施するなど、経済活動縮小の影響を受けた事業者の皆様と家計の支援に努めてきました。

感染症のまん延には細心の注意をはらいつつ、これからは、日常を取り戻すための施策に、市民の皆様とともに歩を進めていきたいと考えています。まず、市内の経済活動を確実に回復基調に乗せることを目的として、南国市商工会が実施するプレミアム付商品券発行業への支援など経済対策や家計支援に取り組んでいきます。」と述べた後、主要な課題について報告しました。

(内容はあらましです)

平山耕三市長は、9月4日開会の第417回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「新型コロナウイルス感染症については、昨年12月の発生以降、流行の中心地を中国、アメリカ・ヨーロッパ、中南米・アフリカへと移しながら世界規模で拡大しており、8月21日現在、全世界での感染者数は2,200万人を超え、死亡者数は79万人を数えています。感染症拡大の影響は、人々の生活の広範に及んでおり、また、一定長期化することも懸念されることから、多くの国々が感染拡大の防止と経済活動維持の狭間で難しい舵取りに直面しています。

国内においても、感染者数が4万人を超えた8月5日から7日後には5万人を超えるなど、依然として感染拡大に警戒が必要な状況が続いていますが、一方で、感染症の拡大を防止しながら経済活動を段階的に回復させていくという難しい時期にもさしかかっています。

特別定額給付金 申請受付が終了

特別定額給付金給付事業の申請受付期間は8月20日で終了しました。給付の対象となる2万2千286世帯のうち、2万2千209世帯99.7パーセントの方が申請され、46億9千620万円の給付を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症については、連日、1日当たりの感染者数が過去最多を更新するなど、国内における感染の再拡大が危惧される状況にあります。県内においても、7月13日に2カ月半ぶりに75例目の感染症患者が確認されて以来、感染者数が徐々に増加しています。さらに、感染経路が不明な感染者も確認されていることから、高知県新型コロナウイルス感染症対策本部では、国の分科会の提言に基づき、県の「感染症対応の日安」を5段階に変更しました。

するなど、状況の変化に応じた対策に努めています。

財政状況

令和元年度決算

令和元年度普通会計の決算状況は、普通建設事業費増により、歳入・歳出ともに増額しました。歳入総額は対前年度比9億3千126万5千円、43パーセント増の25億5千873万1千円、歳出総額は対前年度比11億9千499万3千円、5.8パーセント増の21億7千804万5千円で、実質収支は3億6千15万円の黒字となりました。

地方債借入残高は令和元年度末で、対前年度比5億974万4千円、26パーセント増の19億3千757万4千円となりました。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は94パーセントで対前年度比3.3ポイントの増となり、公債費負担の健全度を示す実質公債費比率は、7.2パーセントで前年度と同じ数値となりました。

コミュニティバス

10月1日ダイヤ改正

令和元年10月に導入した南国市コミュニティバスの運行が2年目を迎えるに当たり、市町村を跨ぐ他の幹線バス路線等との乗継利便性を向上させるため、10月1日にダイヤ改正を行います。また、利用者からご要望もいただいていたフリー乗降区間を増設するとともに、コミュニティバス4路線と中山間地域乗合タクシーの間での乗継割引を導入します。併せて、「医療センター→十市→後免町線」における高知医療センターへの接続も強化します。

とさでん交通株式会社により運行される高知市中心部と香美市龍河洞を結ぶバス路線の龍河洞線が、利用者の減少などにより9月末日までの運行もつて廃止となります。沿線の住民の皆様には一部ご不便をおかけすることになりますが、本市における廃止区間のうち、農業高校通バス停からJA高知病院までの間はコミュニティバスの運行経路として維持します。

熱中症予防

巡回広報等を実施

全国的に6月下旬から熱中症の発生が急増しており、南国市内での熱中症及び疑いのある救急搬送件数は、6月から7月までの間で14件となっています。これを受け、熱中症予防に関する記事を広報なんこく及び市ホームページに掲載するとともに、防災行政無線や救急車等での巡回広報を実施し、市民の皆様にご注意を呼び掛けています。

市民体育大会などを開催

社会教育活動及び社会体育活動については、新型コロナウイルス感染症対策から中止や大幅な縮小を強いられ、公民館活動、高齢者教室、学校開放等の社会体育活動について可能な範囲で実施しています。「人権啓発パネル展」を7月10日から20日までの間で開催し、また、第58回南国市市民体育大会を、感染症対策を実施したうえで、昨年より5種目少ない10種目で7月から11月までの間で開催しています。

子育て支援

私たちは幼稚園で長期休業中の預かり保育を開始

要望をいただいていた「たちばな幼稚園」の長期休業期間中の預かり保育については、今年度の夏季休業から実施し、約半数の在園児に利用いただきました。

子育て世帯に臨時特別給付金を給付

国の補正予算を受け、新型コロナウイルス感染症対策として児童手当受給世帯に対し、対象児童一人につき1万円の子育て世帯への臨時特別給付金を6月末に給付しました。

また、8月からは、児童扶養手当を受給しているなどの条件を満たすひとり親世帯などに、対し、世帯につき5万円を基本とするひとり親世帯臨時特別給付金の基本給付の給付を開始しました。この給付金に併せて、南国市ひとり親世帯応援給付金5万円も給付を開始しています。引き続き、迅速な給付に努めます。

学校教育

前期・後期制を導入

市立小中学校では、新型コロナウイルス感染症への対応として、児童生徒の学びの保障及び児童生徒と教職員の負担軽減を目的として、本年度に限り、前期・後期制を導入するとともに、夏季休業期間を8月1日から8月23日までと短縮しました。

まほろば祭り 動画プロジェクト

8月29日に開催予定であった「土佐のまほろば祭り」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。土佐のまほろば祭り運営委員会では、少しでも市民の皆様楽しんで元氣を取り戻していただくための企画を検討され、昨年度市制施行60周年を記念し「スーパースター」に作成していただいた南国市とまほろば祭りをイメージしたテーマソング「Yeah! Yeah! バケーション!」に合わせた市民の皆様へのダンスや花火をテーマにした動画の配信、市内の幼稚園、保育所、保育園などの子どもたちへの花火のプレゼントなど、多くの市民の皆様へ元氣を届ける催しを実施していただきました。

マイナンバーカード

普及促進に向け支援継続

マイナンバーカードの普及については、昨年度から専用窓口を設置し申請支援や交付などの対応を行っています。マイナンバーカードによる申込の増加により、交付率は7月末現在1087パーセントとなっています。令和3年3月のオンライン資格確認については、国民健康保険の分野でも準備が進んでおり、引き続き、市民の皆様への説明、保険証とマイナンバーカードの連携手続の支援などに取り組んでいきます。

健康診査

集団形式での健診等を再開

新型コロナウイルス感染症を踏まえて延期していた集団形式での特定健康診査・後期高齢者健康診査、がん検診等を8月から再開しました。感染防止策として、3密を避けるため、全ての健診を予約制に変更し、定員を抑えて実施しています。今後も、マスク着用、手指消毒の徹底、健診施設の入口での検温など、感染防止に十分配慮して健診を実施していきます。